

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2024年11月1日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	二光商運株式会社
所在地	東京都港区海岸3-26-1
代表者役職・氏名	代表取締役 櫻井弘紀
担当者連絡先	電話：03-3453-0441
	メール：t.yonago@niko-shoun.co.jp
ウェブサイトURL	https://www.niko-shoun.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

【海上輸送事業】 内航船、バージ、作業船を活用した最適輸送モードによる港湾物流並びに内航海輸送サービスの提供
【海上土木事業】 作業船、内航船を活用した資機材輸送、モーダルシフト提案による低環境負荷サービスの提供
【イベント事業】 海上機材の活用による環境にやさしいイベント資機材の提供と地域に密着した企画提案の実施
【横須賀・沖縄事業】 横須賀港、沖縄港での廃油、生活排水処理及び艦船保守点検補助サービスの提供
【総合人材事業】 貿易実務に卓越した人材の育成と派遣・請負による労働生産性向上に寄与できるサービスの提供

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
□環境 □社会 ✓経済	環境負荷の低い海上輸送へのモーダルシフトの推進	京浜港内での海上輸送の拡大 (対2024年比10%増)
□環境 ✓社会 □経済	働き方改革・健康経営の実践に向けた社員の健康増進、長時間労働の抑制、年休取得率改善並びに無災害の継続	健康診断の有所見率改善(対2024年比5%減) 時間外労働の継続的削減(対2024年比5%減) 無事故・無災害の継続実施(事故・災害0)
✓環境 □社会 □経済	環境保全を目的とした「グリーン経営」認証取得	「グリーン経営」認証取得と持続的改善 (2025年取得)

(次項へ続く)

(様式第2号)

企業・団体名(二光商運株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
																	
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	・労働基準法などの改正内容を経営陣を含めて全社員教育をしている。 ・長時間労働是正のための時間外管理、多様な勤務体制を整備している。							8.5 8.8								
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している				4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	・安全大会を開催し、危険予知活動、ヒアリング事例紹介、改善提案活動の表彰を実施している。		3					8								
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる			3													
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	・資格取得の奨励、資格手当の拡充および研修会受講を奨励している。			4	5.5			8	9							
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	・就業規則改定（賃金規程など）の改定を実施している。					5.5		8.5		10.2 10.3						
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	・健康診断の結果を踏まえて有所見率改善に取り組んでいる。		3					8								
11	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	・艦船から排出された廃棄物、廃油の処理と管理を実施し、環境保全に寄与している。										11.6	12.4 12.5		14.1		
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	・船舶の使用燃料を把握し、輸送効率向上及び最適ルートによる燃費改善を実施している。						7.3					13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている							7.2 7.3					12.4	13.3			

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる			3.9			6.3					11.6	12.4						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している					6.6										15			
16	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる					6.4 6.6													
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	・【予定】環境保全を目的とした「グリーン経営」認証取得と継続を目指している。	3.9				6	7					12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している												12.6						
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	・国内外でEV船の企画と実輸送への投入を計画している。						7.2						13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる												12.2	13	14	15			
21	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		3.9										12.4						
22	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している								9										
23	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	・国内外でEV船の企画と実輸送への投入を計画している。					6						12	13	14	15			
24	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	・内航船、バージ、舢舺、作業船によるモーダルシフトの提案を行い都市部の渋滞緩和の実施をしている。	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	17
25	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	・関東地区でのイベント事業に低環境負荷のサービスを提供している。			4					9		11	12		14	15		17	17
26	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	・積極的に災害復旧工事に参画している。			4							11			14	15		17	17
27	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している							8	9		11	12	13						

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している	・経営理念を明確化している。																	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	・定期的なコンプライアンス研修に参加させている。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)																	16	17
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	16	
33	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	・二光商運グループ内で相互に相互に補完できる組織体制を構築している。								9		11		13				16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	・事業継続に必要な人材の育成、資格取得を計画的に行っている。							8	9								17	17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】 ・各カテゴリー毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。 ・列の高さは適宜修正して頂いて構いませんが、取組がない事項であっても列を削除しないでください。(空欄で結構です。) ・今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。 ・なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。 ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。 ・取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。 ・「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。
